

KENWOOD

カセットレシーバー

RX-360

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

© B64-1321-00 (JW)

CONTENTS

安全上のご注意

この取扱説明書の読み方

4

安全上のご注意

5

使用上のご注意

8

操作のしかた

ALL MODE

パワーオン、パワーオフ、ボリューム、アッテネーター、
モードチェンジ、ラウドネス 10

10

オーディオコントロール、時計表示、時計調整、
トラフィックインフォメーション、
トラフィックインフォメーションボリューム 12

12

TAPE MODE

テーププレイ、リバーズプレイ、イジェクト、
早送り/巻戻し、ドルビー-B NR 14

14

テープセレクター、テープアドバンス、
ミュージックリピート、ブランクスキップ、
チューナーコール 16

16

TUNER MODE

チューニング 18

18

マニュアルメモリー、オートメモリー 20

20

DISC CONTROL MODE

(ディスクチェンジャー/CDプレーヤー：別売品)

ディスクプレイ、ポーズ、トラックサーチ、
早送り/早戻し、ディスクサーチ、リピートプレイ 22

22

トラックスキャンプレイ、ディスクスキャンプレイ、
トラックランダムプレイ、マガジンランダムプレイ 24

24

取り付け上のご注意

26

接続・取り付けのしかた

28

故障かな?と思ったら

30

保証とアフターサービス

34

仕様一覧

35

ALL MODE

TAPE MODE

TUNER MODE

DISC MODE

RX COMPONENT SOUND SYSTEM RX-360

● この取扱説明書の読み方

● 機能の名称が書いてあります。

パワーオン

電源を入れる



SRCボタンを押す。

MEMO ▶ すべての操作は電源オン中に行ってください。

● 機能の簡単な説明が書いてあります。

● 操作に関する補足説明が書いてあります。



ボタンを押し、すぐに手を離します。



ボタンを1秒以上、または2秒以上押し続けます。

ご使用の皆様へ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため
「安全上のご注意」をご使用前に
よくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。



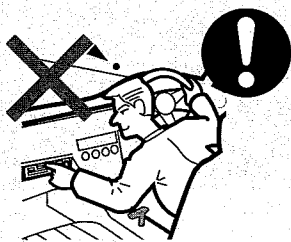
分解・改造を禁止するという意味です。



ⓘ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。

警告

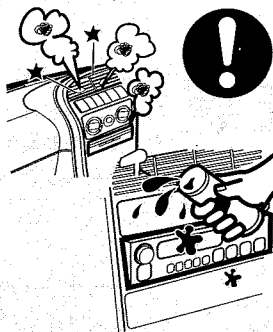


運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- 音量調節などのカーオーディオの操作



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。



以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

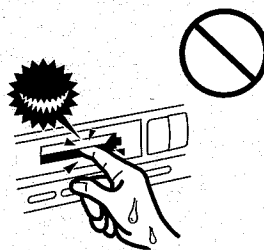
- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。けがをすることがあります。



製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

■ 本機に接続できるディスクチェンジャーについて

KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, およびKMD-C80は直接接続することができます。

KDC-C200, KDC-C300, KDC-C301, KDC-C50, またはKDC-C55を接続するときは、別売品の"CA-DS100"が必要です。別途お買い求めください。また、C705i, C705sr, MD6, MD66を接続するときは、別売品の"CA-KD20"が必要です。別途お買い求めください。

なお、"CA-DS100"または"CA-KD20"を使いディスクチェンジャーを接続した場合には、使用できない機能（マガジンランダムなど）が発生します。

CD/MDチェンジャースイッチングユニットKCA-S210A/S200を使用するとディスクチェンジャーを2台接続することができます。接続等詳しい説明はKCA-S210A/S200に付属の取扱説明書をご覧ください。

KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210またはKDC-C206を接続した場合、これらのディスクチェンジャーの"O-Nスイッチ"は"N"側に設定してください。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能が異なる場合があります。

■ 取り付け時の注意

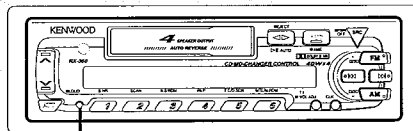
直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

■ セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

■ セットの異常にお気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。



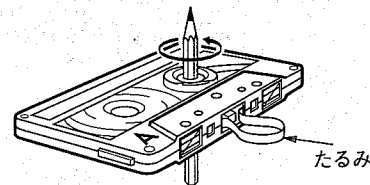
リセットボタン

■ ヘッドクリーニングについて

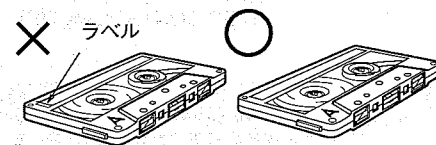
本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店やレコード販売店で市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

■ テープの取扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないで下さい。


ALL MODE 共通機能

ALL MODE

ALL MODE


パワーオン

電源を入れる

-  SRC ボタンを押す。
電源をオフにしたときのモードになります。



パワーオフ

電源を切る

-  PWR OFF ボタンを1秒以上押す。



ボリューム

音量を調整する

-  音量を大きくする
へボタンを押す。
-  音量を小さくする
∨ボタンを押す。


アッテネーター

音量をすばやく小さくする

-  ATT ボタンを押す。
アッテネーターがON中はATTインジケータが点滅します。
-  元の音量に戻す
ATT ボタンを押す。



モードチェンジ

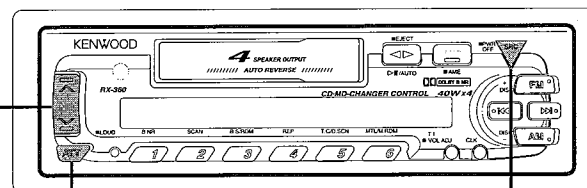
聴くメディアを切り替える

-  SRC ボタンを押す。
押すたびにモードが以下のように切り替わります。
- ↓
TUNE : FM/AM放送を聴くモード
(TUNER MODE)
- ↓
TAPE : TAPE演奏を聴くモード
(TAPE MODE)
- ↓
DISC : CDプレーヤーまたは
ディスクチェンジャーの
演奏を聴くモード
(DISC CONTROL MODE)

ラウドネス


高音と低音を補正してメリハリのある音質にする

-  LOUD ボタンを1秒以上押す。
ラウドネスがONになるとLOUDインジケータが点灯します。
-  元の音質に戻す
LOUD ボタンを1秒以上押す。



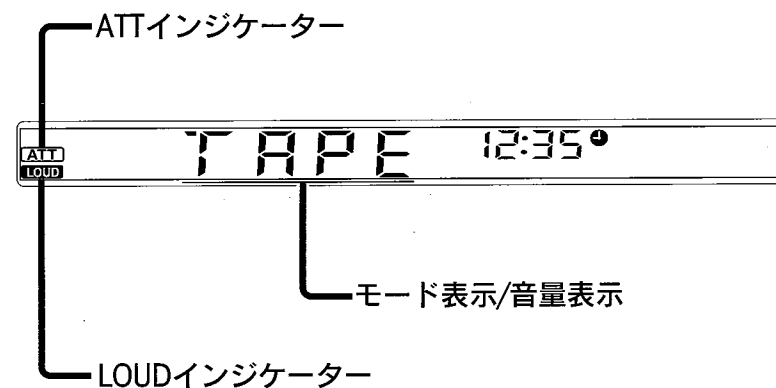
 ATT ボタン

 LOUD ボタン

 へ/∨ ボタン

 SRC ボタン

 PWR OFF ボタン



ALL MODE 共通機能

オーディオコントロール

音質や音量バランスを調整する

- A** AUD ボタンを押す。
オーディオコントロールモードになります。
- E** FM ボタンまたはAM ボタンを押す。
押すたびに調整できるモードが以下のように切り替わります。

- BAS** : 低音調整モード
(調整範囲: -4 ~ +4)
- TRE** : 高音調整モード
(調整範囲: -4 ~ +4)
- BL** : 左右音量バランス調整モード
(調整範囲: L[左]15 ~ R[右]15)
- FD** : 前後音量バランス調整モード
(調整範囲: F[前]15 ~ R[後]15)

- D** ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す。
それぞれのモードを調整できます。

- ▶ 解除する
A AUD ボタンを押す。
または、5 秒間操作をやめる。

MEMO ▶ 低音と高音の調整は、カセットテープ、FM 放送、AM 放送、および MD/CD を聴いているとき、それぞれのモードごとにできます。

時計表示

時刻を表示する

- C** CLK ボタンを押す。
押すたびに、現在のモードの表示と時計表示とが切り替わります。
時計表示中は●インジケータが点灯します。

時計調整

時刻を調整する

- 時計表示にする。
- C** CLK ボタンを押しながら◀ ボタンまたは▶ ボタンを押す。
◀ ボタンを押すと時刻が調整でき、▶ ボタンを押すと分が調整できます。

トラフィックインフォメーション

交通情報を聞く

- B** TI ボタンを押す。
交通情報局 (1620kHz、1629kHz、または522kHz) を受信します。
トラフィックインフォメーションが ON のときは、インジケータが点灯します。

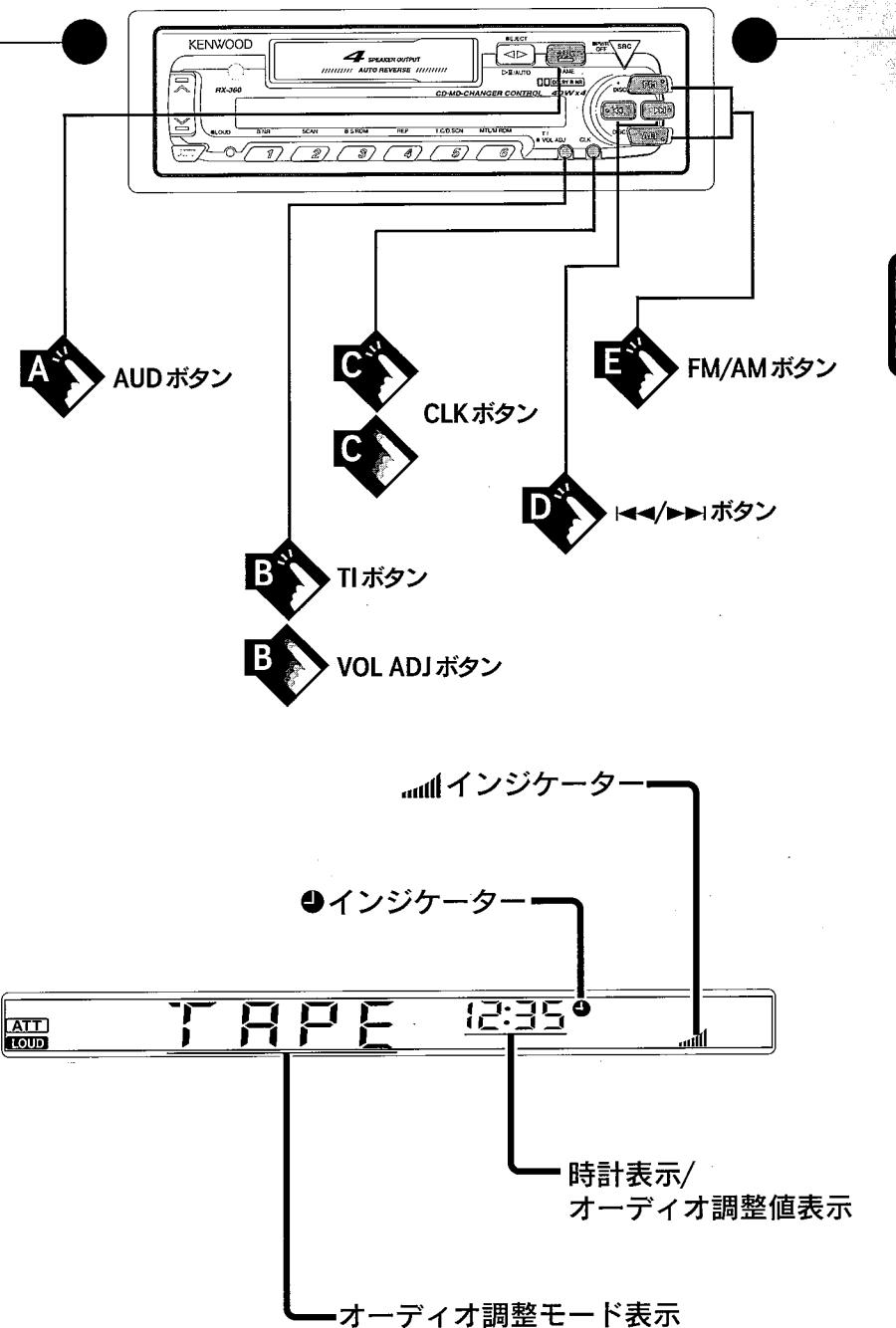
- D** ▶ 周波数を変更する
◀ ボタンまたは▶ ボタンを押す。

- B** ▶ 解除する
TI ボタンを押す。

トラフィックインフォメーションボリューム

交通情報受信中の音量を設定する

- トラフィックインフォメーションを ON にして、設定したい音量にする。
- B** VOL ADJ ボタンを 2 秒以上押す。
設定されると音量表示が 1 回点滅します。



TAPE MODE

TAPE MODE

テーププレイ

カセットテープを聴く

▶ カセットテープが入っていないとき
カセットをテープが見える方を右側
にして入れる。

▶ カセットテープが入っているとき
SRC ボタンを "TAPE" と表示がさ
れるまで押す。

MEMO ▶ 走行インジケータは以下のように再生
面を表示します。
例)カセットのA面を上にして入れたとき。
▶ 点灯：A面を再生中です。
◀ 点灯：B面を再生中です。

リバースプレイ

カセットテープの反対面を聴く

◀▶ ボタンを押す。

イジェクト

カセットテープを取り出す

◀▶ ボタンを1秒以上押す。

早送り/巻戻し

▶ 早送り
FM ボタンを押す。

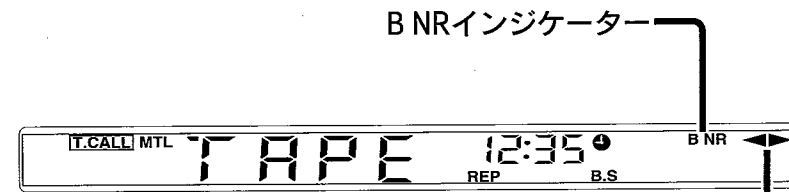
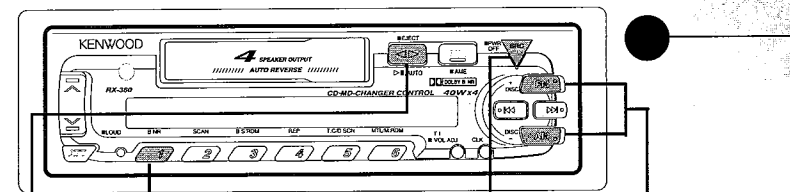
▶ 巻戻し
AM ボタンを押す。

▶ 早送り/巻戻しを解除する
◀▶ ボタンを押す。

ドルビーB NR

ドルビーB NRを使って録音されたテープ
を聴く

▶ B NR ボタンを押す。
押すたびにドルビーB NRシステムが
ON/OFF します。
ドルビーB NRシステムがONのとき
は、B NR インジケータが点灯しま
す。



走行インジケータ

TAPE MODE

TAPE MODE

テープセレクト

メタル/クロームテープを聴く



MTL ボタンを押す。
 押すたびにテープポジションがメタル (TYPE IV) / クローム (TYPE II) とノーマル (TYPE I) とに切り替わります。
 メタル/クロームポジションのときは、MTL インジケータが点灯します。

テープアドバンス

曲の頭出しをする



今聴いている曲を最初から聴く
 ◀◀ ボタンを押す。



次の曲を聴く
 ▶▶ ボタンを押す。



途中で解除する
 ◀▶ ボタンを押す。

ミュージックリピート

同じ曲を繰り返し聴く



繰り返し聴きたい曲を再生中に REP ボタンを押す。
 押すたびにミュージックリピートが ON/OFF します。
 ミュージックリピートが ON のときは、REP インジケータが点灯します。

ブランクスキップ

無録音部分を自動的に早送りする



B.S ボタンを押す。
 押すたびにブランクスキップが ON/OFF します。
 ブランクスキップが ON のときには、B.S インジケータが点灯します。

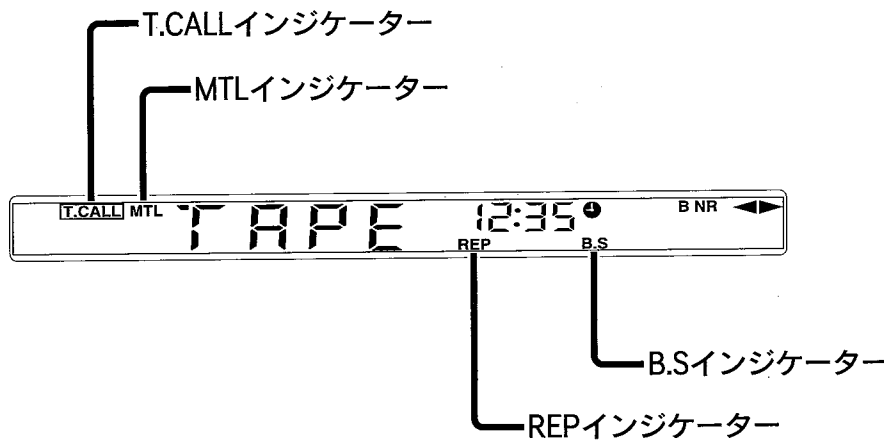
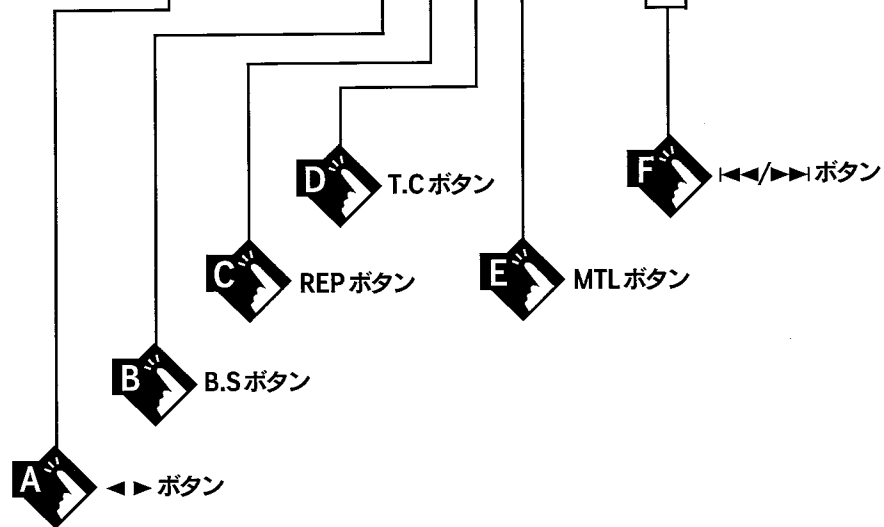
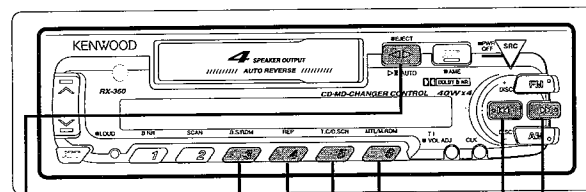
チューナーコール

早送り・巻戻し中にラジオを聴く



T.C ボタンを押す。
 押すたびにチューナーコールが ON/OFF します。
 チューナーコールが ON のときには、T.CALL インジケータが点灯します。

注意 ▶ チューナーコールを ON にすると、オートアンテナ車ではアンテナが伸びた状態になります。車庫入れのときなどにアンテナを収納したいときは、チューナーコールを OFF にしてください。



TUNER MODE

チューニング

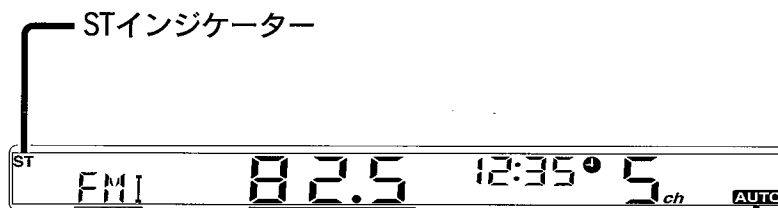
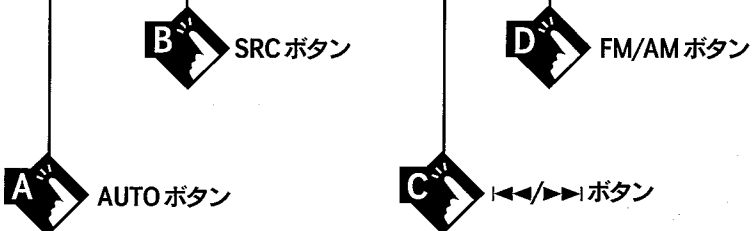
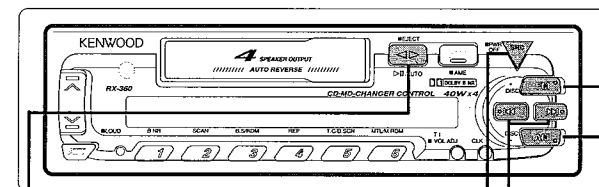
ラジオを聴く

B チューナーに切り替える
SRC ボタンを "TUnE" と表示がされるまで押す。

D バンドを切り替える
AM ボタンまたは FM ボタンを押す。
AM ボタンを押すと AM バンドに切り替わります。FM ボタンを押すたびに FM1 バンド、FM2 バンド、FM3 バンドの順に切り替わります。バンドインジケータに受信しているバンドが表示されます。

A チューニング方法を切り替える
AUTO ボタンを押す。
AUTO ボタンを押すたびにチューニングモードがオートとマニュアルとに切り替わります。
オートチューニングモード時は受信できる放送局を自動的に探します。マニュアルチューニングモード時は1ステップずつ周波数を変えることができます。
オートチューニングモード中は、AUTO インジケータが点灯します。

C 放送局を替える
◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押す。
オートチューニングモード時に◀◀ ボタンを押すと低い周波数の放送局を探し、▶▶ ボタンを押すと高い周波数の放送局を探します。
マニュアルチューニングモード時に◀◀ ボタンを押すと周波数が1ステップ下がり、▶▶ ボタンを押すと周波数が1ステップ上がります。
FM ステレオ放送を受信すると ST インジケータが点灯します。



STインジケータ
周波数表示
受信バンドインジケータ
AUTOインジケータ

TUNER MODE

マニュアルメモリー

放送局をメモリーする

- A** ▶ 周波数をメモリーするメモリーボタン1～6のいずれかを2秒以上押す。

受信中の放送局がメモリーされます。メモリーが完了すると押しているメモリーナンバー表示が点滅から点灯に変わります。

AM、FM1、FM2、およびFM3の各バンドで、1つのメモリーボタンに1つの周波数がメモリーできます。

- A** ▶ メモリーした放送局を呼び出すメモリーボタン1～6のいずれかを押す。

押したボタンの番号がメモリーナンバー表示に表示されます。

オートメモリー

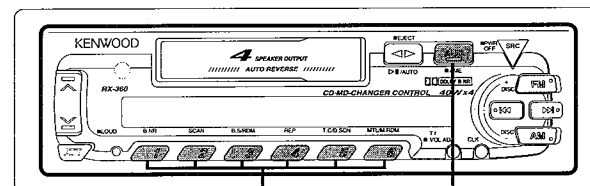
放送局を自動的に探してメモリーする

- B** ▶ オートメモリーを開始するAMEボタンを2秒以上押す。

オートメモリーが始まり、次々に放送局を6局メモリーします。6局メモリーするか受信可能なすべての放送局をメモリーするとオートメモリーは終了します。

- A** ▶ メモリーされた放送局を呼び出すメモリーボタン1～6のいずれかを押す。

押したボタンの番号がメモリーナンバー表示に表示されます。

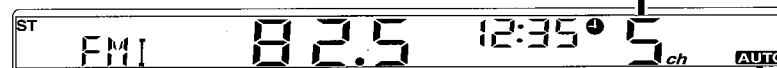


メモリーボタン



AMEボタン

メモリーナンバー表示



周波数表示

バンドインジケーター

AUTOインジケーター

DISC CONTROL MODE

ディスクプレイ

MD/CDを聴く



SRC ボタンを“DISC”と表示がされるまで押す。

接続しているディスクチェンジャーまたはCDプレーヤーにセットされているMDまたはCDの再生が始まります。

ポーズ

ディスクの再生を一時停止する



▶|| ボタンを押す。

押すたびにディスクの再生がポーズプレイします。

トラックサーチ

聴きたい曲を選ぶ



◀◀ ボタンまたは▶▶ ボタンを押す。

◀◀ ボタンを押すと手前の曲になり、▶▶ ボタンを押すと先の曲になります。

聴きたい曲のトラックナンバーが表示されるまで押します。

早送り/早戻し

聴きたい演奏か所を選ぶ



◀◀ ボタンまたは▶▶ ボタンを押し続ける。

◀◀ ボタンを押し続けると手前へ早戻しし、▶▶ ボタンを押し続けると先へ早送りします。希望の所で指を離します。

ディスクサーチ

聴きたいディスクを選ぶ
(ディスクチェンジャーの機能)



− ボタンまたは+ ボタンを押す。

− ボタンを押すと手前のディスクになり、+ ボタンを押すと先のディスクになります。

聴きたいディスクナンバーが表示されるまで押します。ディスクナンバー10を選択時は“0”と表示されます。

リピートプレイ

同じ曲/同じディスクを繰り返し聴く
(ディスクリピートはディスクチェンジャーの機能)



REP ボタンを押す。

押すごとにリピートプレイモードが以下のように切り替わります。

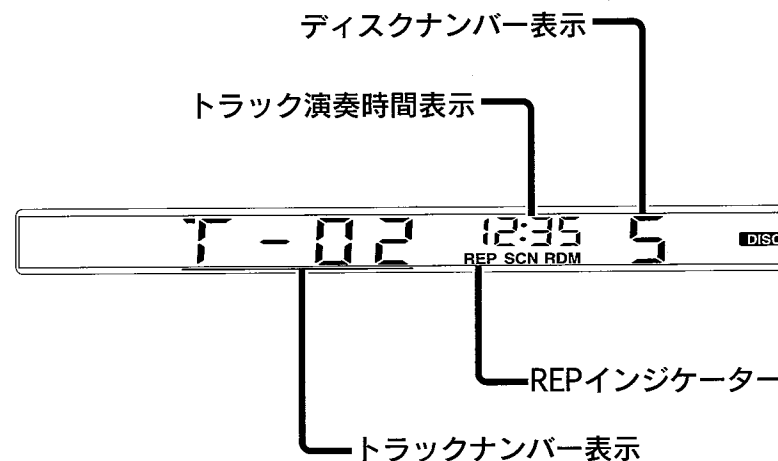
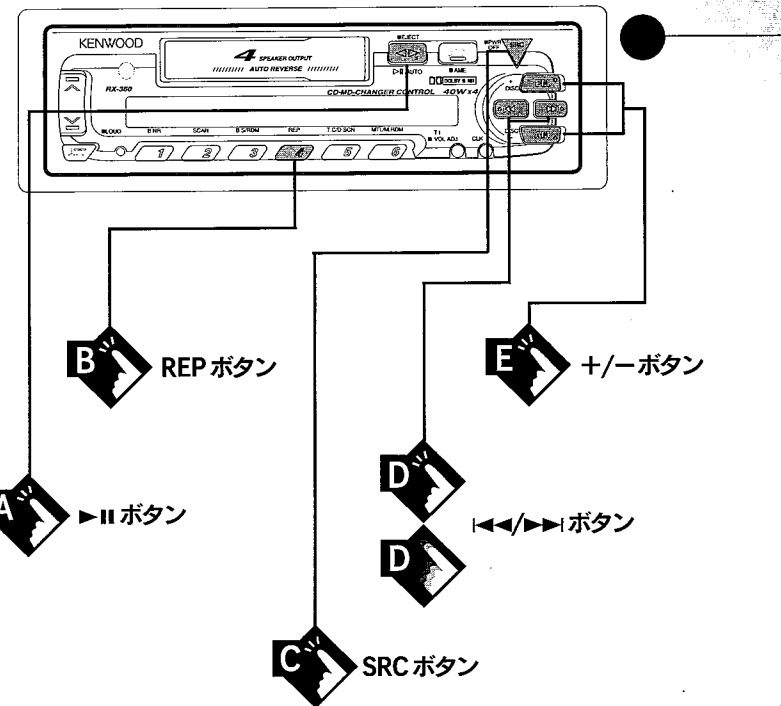
トラック : 今聴いている曲を
リピートON 繰り返し再生します。

ディスク : 今聴いているディスクを
リピートON 繰り返し再生します。

リピートOFF

トラックリピート中はREPインジケータが点灯してトラックナンバーが点滅します。

ディスクリピート中はREPインジケータが点灯してディスクナンバーが点滅します。



DISC CONTROL MODE

トラックスキャンプレイ

聴きたい曲を探す

1. トラックスキャンプレイを始める
SCAN ボタンを押す。
 聴いているディスクの各曲の最初の部分を次々に10秒間ずつ再生します。
 トラックスキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯して、トラックナンバーが点滅します。
2. 聴きたい曲の再生が始まったら
SCAN ボタンまたは**▶||** ボタンを押す。
 トラックスキャンが解除され、通常のディスプレイになります。

ディスクスキャンプレイ

聴きたいディスクを探す
 (ディスクチェンジャーの機能)

1. ディスクスキャンプレイを始める
D.SCN ボタンを押す。
 ディスクマガジンにセットされているディスクの最初の部分を次々に10秒間ずつ再生します。
 ディスクスキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯して、ディスクナンバーが点滅します。
2. 聴きたいディスクの再生が始まったら
D.SCN ボタンまたは**▶||** ボタンを押す。
 ディスクスキャンが解除され、通常のディスプレイになります。

トラックランダムプレイ

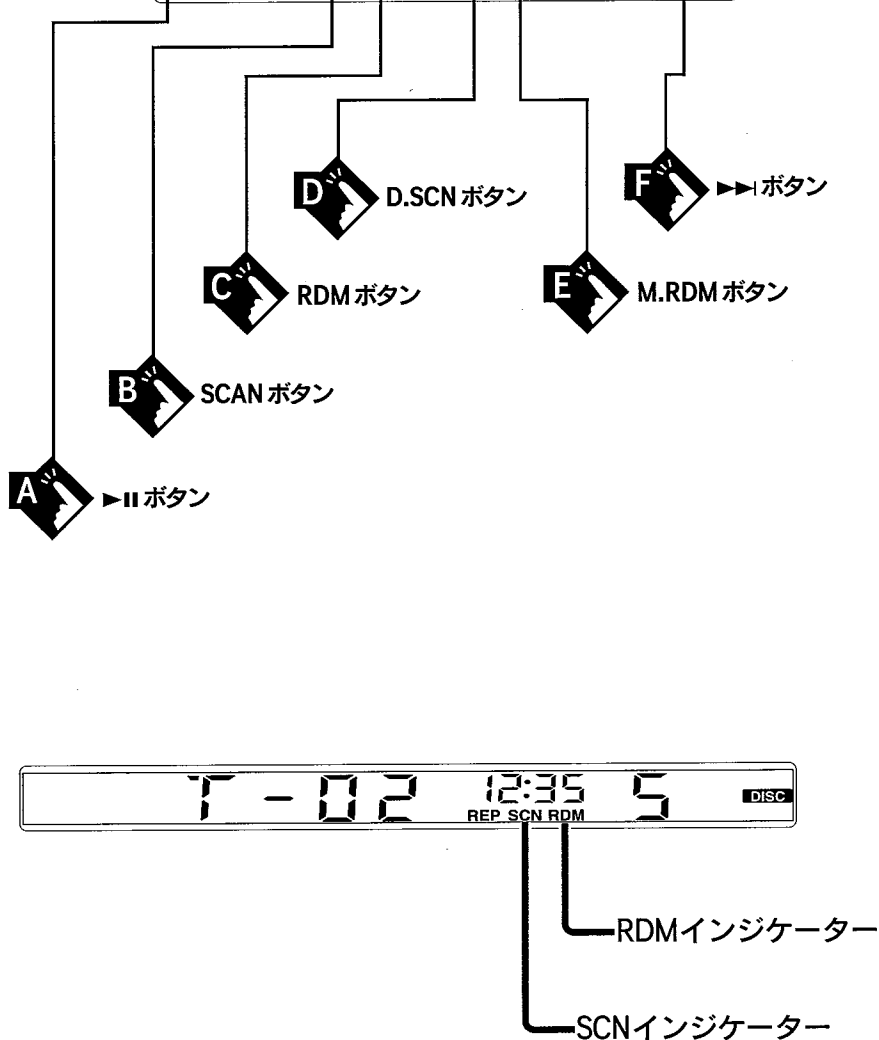
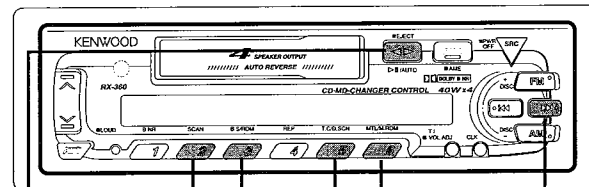
ディスクから曲をランダムに選択して再生する

1. **RDM** ボタンを押す。
 ランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯して、トラックナンバーが点滅します。
- ▶ ほかの曲を聴く
▶|| ボタンを押す。
- ▶ 解除する
RDM ボタンを押す。

マガジンランダムプレイ

マガジンセットされているディスクから曲をランダムに選択して再生する
 (ディスクチェンジャーの機能)

1. **M.RDM** ボタンを押す。
 マガジンランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯して、ディスクナンバーが点滅します。
- ▶ ほかの曲を聴く
▶|| ボタンを押す。
- ▶ 解除する
M.RDM ボタンを押す。



取り付け上のご注意

警告



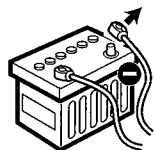
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



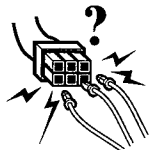
実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



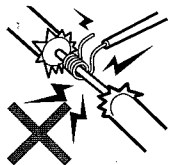
実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用しないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



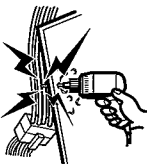
実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

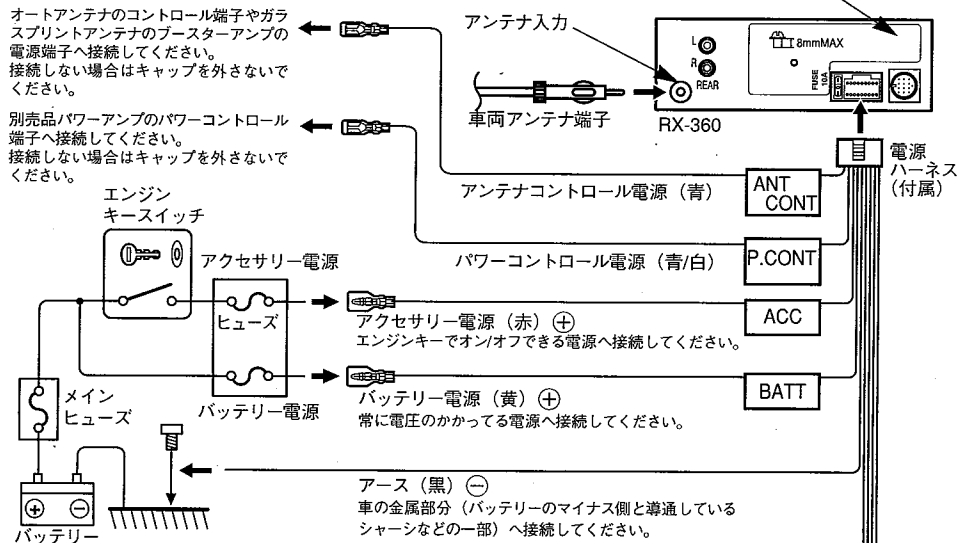
接続・取り付けのしかた

●接続

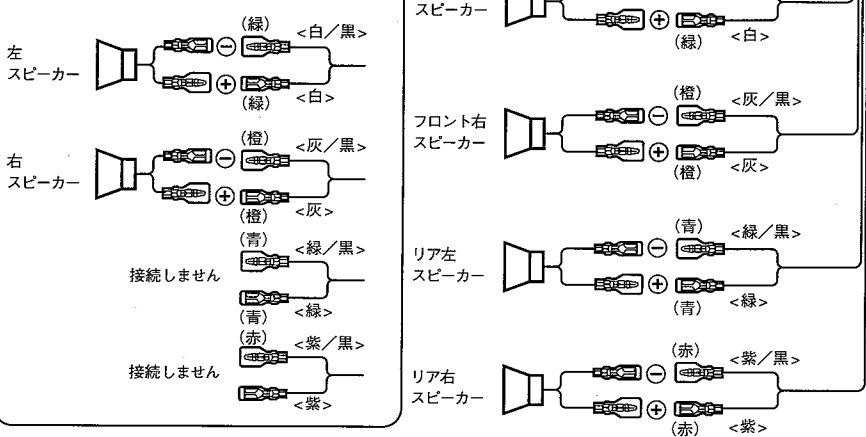
取り付け手順

1. エンジンキーを抜き、バッテリーの⊖端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスのアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)を順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターをRX-360に接続します。
6. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンにしてリセットボタンを押します。(P.9)

ディスクチェンジャー入力
詳しい接続のしかたはディスクチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。

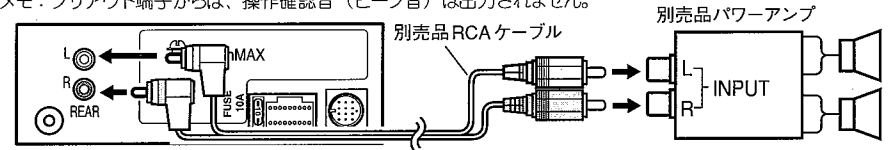


2スピーカー時のスピーカー接続方法



●プリアウト端子の接続

別売品のRCAケーブルを使用して、パワーアンプに接続します。
メモ：プリアウト端子からは、操作確認音(ピー音)は出力されません。

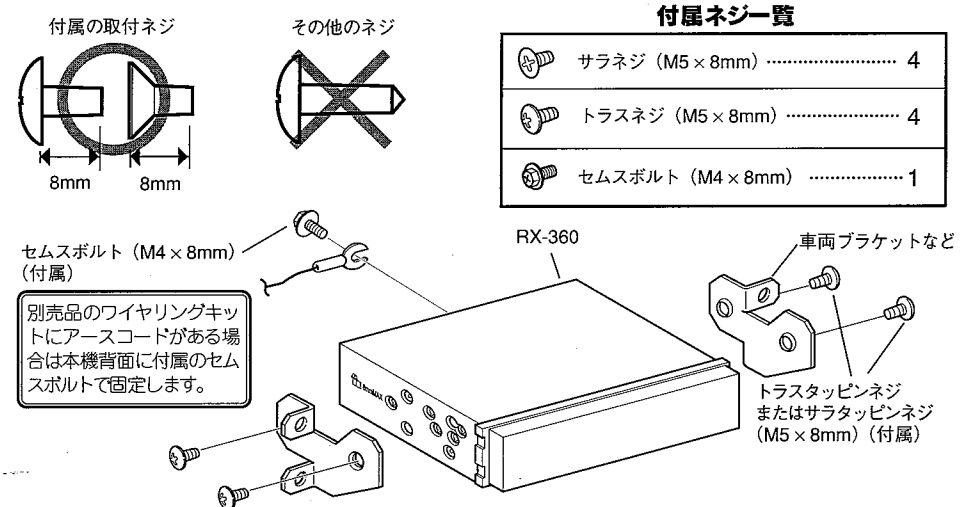


●本機取り付け

付属のネジ(M5×8mm)4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

注意

- 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。
- ブラケット取付用ネジの頭形状はサラ型、トラス型の2種類を付属しています。車両に適したネジをご使用ください。



●ヒューズ交換のしかた

注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

セット背面
ヒューズ(10A)

故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスなどにより、故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	こうします
音が出ない/小さい	<ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっている。 アッテネーターがオンになっている。 ヒューズが切れている。 フェダー、バランスが片側に片寄った設定になっている。 入・出力/電源コードが間違っ て接続されている。 カセットテープの不良。 	<ul style="list-style-type: none"> 音量を適度に上げてください。 アッテネーターを解除してください。 コード類がショートしていないことを確認後、所定容量のヒューズと交換してください。 フェダー、バランスを調整してください。 "接続・取り付けのしかた"を見て正しく接続してください。(⇒P.28) 他のカセットテープを使用してください。
音質が悪い(音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> 音量が大きすぎる。 ヘッドが汚れている。 スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 スピーカー配線が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正音量で使用してください。 "ヘッドクリーニングについて"を見てヘッドクリーニングを行ってください。(⇒P.9) スピーカー配線をチェックしてください。 スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。
テープが入らない	<ul style="list-style-type: none"> カセットハーフが変形している。 テープが逆向きになっている。 カセット機構がすでに再生状態になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のカセットテープを使用してください。 テープが見える面を右にして入れてください。 ◀▶ ボタンを1秒以上押ししてから、カセットテープを入れてください。
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 自動車のアンテナが伸びていない。 アンテナコントロール電源が接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナを十分伸ばしてください。 "接続・取り付けのしかた"をみてアンテナコントロール電源を接続してください。(⇒P.28)
カセットモード中にアンテナが伸びる	チューナーコールがオンになっている。	チューナーコールをオフにしてください。(⇒P.16)

こんなとき	どうして	こうします
テープアドバンスが行くと、曲の途中で再生が始まる	曲間の無録音部分が4秒以下になっている。	テープアドバンスは曲間の無録音部分が4秒以上あるテープで行ってください。(下記参考を参照してください)
曲が終わってもリピートしない リピートしたい曲の手前から再生する	曲間の無録音部分が4秒以下になっている。	ミュージックリピートは曲間の無録音部分が4秒以上あるテープで行ってください。(下記参考を参照してください)
勝手に早送りが始まる	録音レベルが小さいため、ブランクスキップ機能が働いた。	小さな音が続くテープを聴くときは、ブランクスキップをOFFにしてください。
無録音部分が続いているのにブランクスキップが働かない	無録音部分の雑音が大きいです。	無録音部分の雑音を取り除くか、ほかのテープを使用してください。

参考 ▶ テープアドバンスとミュージックリピートについて

テープアドバンスとミュージックリピートは曲間(曲と曲の間の無録音部分)を探して曲の最初の部分を見つけています。

このため、曲間が4秒以下のテープでは正しく動作しないことがあります。

故障かな?と思ったら

●ディスクチェンジャーまたはCDプレーヤー（別売品）を接続しているとき

こんなとき	どうして	こうします
ディスクチェンジャーコントロールモードにならない	本機のチェンジャー入力が接続されていない。	本機のチェンジャー入力を接続してください。
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。(⇒P.9)
ディスクの演奏が始まらない	電源がオンになっていない。	電源をオンにした後、SRCボタンを押してディスクコントロールモードにしてください。
指定したディスクが演奏されず、ほかのディスクの演奏をする	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが異常に汚れている。 ディスクが裏返しになっている。 ディスクが2枚同じ場所に入っている。 ディスクの入れた場所と指定No.が違う。 ディスクに大きな傷がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクのクリーニングをしてください。 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトして指定ディスクのNo.を確認してください。 他のディスクを使用してください。
チェンジャー表示はするが音がでない	<ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっている。 アッテネーターがオンになっている。 マイコンが正常に動作していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 音量を適度に上げてください。 アッテネーターを解除してください。 本機のリセットボタンを押してください。(⇒P.9)
選曲動作をしても目的の曲にならない	ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードになっている。	ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードを解除してください。(⇒P.24)

●以下の表示でディスクチェンジャーの状態をお知らせします。

- E-01:** ディスクマガジンが入っていない。
ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- E-02:** ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- E-04:** ディスクが異常に汚れている。
ディスクが裏返しになっている。
ディスクにキズが多く付いている。
ディスクが入っていない。
ディスクマガジンにトレイが入っていない。
- E-10:** 演奏しようとしたMDに何も記録されていない。
⇨ 次のMDを自動的に演奏します。
- E-11:** 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
⇨ 次のMDを自動的に演奏します。
- E-77:** 何らかの原因で正常に動作していない。
⇨ 本機のリセットボタンを押してください。それでも“E-77”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- E-99:** ディスクマガジンに異常がある
何らかの原因で正常に動作していない。
⇨ ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
ディスクマガジンに異常がなければ、本機のリセットボタンを押してください。
それでも“E-99”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- E-Od:** 温度が60℃以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇨ ディスクチェンジャー取り付け場所の温度を下げればしばらくのちに表示は消えます。

保証とアフターサービス

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ(有料修理の場合は、以下の料金が必要です。)

- 技術料**: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代**: 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲	76.0 MHz ~ 90.0 MHz
チャンネルスペース	100 kHz
実用感度 (SN比: 50 dB)	9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω)
S/N比: 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω)
周波数特性 (±1 dB)	30 Hz ~ 15 kHz
S/N比 (モノラル)	70 dB
選択度	≥ 80 dB (±400 kHz)
ステレオセパレーション (1 kHz)	40 dB

AMチューナー部

受信周波数範囲	522 kHz ~ 1629 kHz
チャンネルスペース	9 kHz
感度 (SN比: 20 dB)	28 dBμ (25 μV)

カセットデッキ部

テープスピード	4.76 cm/秒
ワウ&フラッター (WRMS)	0.08 %
周波数特性 (±3.0 dB, メタルテープ使用時)	30 Hz ~ 18 kHz
ステレオセパレーション (1 kHz)	43 dB
S/N比 (IHF T200) (DOLBY B NR ON)	65 dB
(DOLBY B NR OFF)	57 dB

オーディオ部

最大出力	40 W × 4
定格出力 (1 kHz, 10%THD, 4 Ω)	26 W × 4
プリアウトレベル (FM)	1800 mV/10 k Ω
プリアウトインピーダンス	≤ 600 Ω
音質調整	± 10 dB
バス (100 Hz)	± 10 dB
トレブル (10 kHz)	± 10 dB

電源部

電源電圧 (⊖アース)	14.4 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W × H × D)	178 × 50 × 155 mm
重量	1.2 kg

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になることがあります。